

全教・教組共闘自治体キャラバンは一九九六年から毎年、県と五市の議会に対して「三〇人学級の意見書」を提出したほか、各町教育委員会や県P連会長、小中高の校長会長の訪問し、三〇人学級実現について要請してきた。

また香教組は、「香川の教育をよくする県民会議」幹事団体として、毎年、各支部の目標を設定し、三〇〇〇万署名に積極的に取り組んできた。三豊支部を中核とする「三豊の教育をよくする会」では、集めた署名を力に毎年、観音寺市教育長と交渉して、三〇人学級の早期実現をせまっている。

区分	年度	
	一九九七	一九九八
全 県	八、四三六	八、五〇六
三豊支部	一、五三七	二、〇四九
百分率	一九九七	一九九八
	一九九九	二〇〇〇
	二〇〇一	二〇〇二
	二〇〇三	二〇〇四
	二二六・二	二二九・二
	三三二・四	三三六・六
	四一・三	四一・三
	一八・二	二二・一
一〇、三九五	一一、〇〇八	
二、七三二	三、五五九	
一一、〇〇八	一一、四四五	
四、七八六	四、二二六	
三、五五九	三、七三〇	
三九・九	四一・三	
二二、一七一	二二、一七一	
三、四三六	四、二二六	

右の表は、近年、香教組が集約した三〇〇〇万署名者数の推移を表す。これをみると、この運動において、香教組全一支部にしめる三豊の貢献度は飛びぬけてたかい。

二〇〇一年度に開始された「香川型教育」は翌年には、少人数加配教員が四六一名（小